

新宮山彦ぐるーぷ第2063回

子ノ泊山、ヤケ岨展望所の整備

◇実施日…2020年1月9日(木) 晴

◇参加者…山川治雄、梶野照雄。

2名

1月12日の新十二支会、子ノ泊山登山に際して、ヤケ岨に多数で行くことに危険が伴う、と山川さんから提言があり、途中の安全が確保できる所にヤケ岨からの展望と等しい場所を確保することになった。



スタンプラリーの案内が

新しい標識



尾根で休憩



前日に山川さんの山荘に泊めて頂き、朝8時半に尾根登山口から登りだした。登山口にはスタンプラリーのテーブルが置かれ、登山道

には沖崎さんが設置した道標が増えていた。30分で尾根に着き、しばらく休憩する。急登を15分ほど登って、山彦新道の分岐に着、ヤケ岨へ下る。ヤケ岨の20mほど手前に比較的平坦で眺めの良い場所を見つけ、ここを展望所とすることにした。

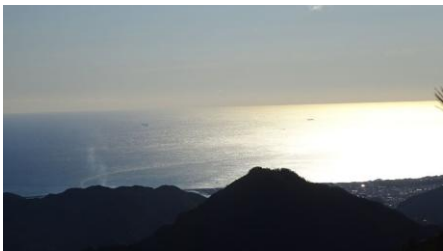


展望所伐採

2台のチェーンソーを使って周りの木を切っていく。大きな木は少ないので、作業は早い。ただ、細い木はチェーンソーの刃が引っ掛かりやすく、途中で刃が外れてしまった。工具を出して刃を取り付け直し、作業再開。15分ほどで殆どの木を切除した。崖の少し下に生えている松の木が残ったが、山川さんが体をロープで確保して下に降りて切り倒した。

展望所からは太陽の光が反射している熊野灘や朝里の集落の一部を含む熊野川流域、大雲取の山々などが一望できる。ヤケ岨からの眺めとほぼ同じ眺めが確保できた。約40分の作業で展望所の整備

は終了、山頂には向かわずに下山した。



熊野川

熊野灘

展望所全容

11時半に登山口に着く。R311の風伝トンネル傍まで山川さんに先導していただき帰路に着いた。



赤木城跡

千枚田遠望

一族山

風伝トンネルを越えたところで車を止め、弁当を食べる。時間も早いので、どこかに寄って帰ろうと、千枚田か湯ノ口か赤木城跡か迷ったが、水を張っていない千枚田は田んぼらしく見えないと思い、赤木城跡に向かった。赤木城跡からツエノ峰の展望所まで行ってみると、正面に一族山が見え、左手に熊野灘、千枚田もよく見えていた。

(記；梶野)

行動タイム

尾根登山口 08:30 ↓ 09:28 山彦新道分岐 ↓ 09:50 ヤケ峠展望所 10:45 ↓ 11:33 尾根登山口